

安全な生活を送るために（児童用）

～自分の命を守るために～

年 組 氏名

自分の命を守るためにどうすればいいでしょう。
おうちの人と考えてみましょう。

1. 知らない人から声をかけられました。

Q1 学校の帰り道、知らない人から、「新しいゲームソフトをあげようか。」と声をかけられました。どうしますか？

- ① ソフトがほしいからついて行く。
- ② 優しそうだからついていく。
- ③ 知らない人にはついていかない。
- ④ 近くにいる大人に、声をかけられたことを伝える。

家の人とのやくそく

Q2 遊んでいる時、知らない人に車から「家の人に頼まれて、迎えにきたよ。」と声をかけられました。

どうしますか？

- ① すぐに車からはなれる。
- ② 車に近づいて話をする。
- ③ 「家の人」と言っているので、車に乗る。

家の人とのやくそく

Q3 知らない人につれていかれそうになりました。

どうしますか？

- ① すぐに走って逃げる。
- ② 大声を出して、助けを求める。
- ③ 暗くて静かなところにかくれる。
- ④ 近くのお店や家になげこむ
- ⑤ 防犯ブザーやホイッスル（笛）を鳴らす。

家の人とのやくそく

2. 友だちと遊びに行く時、遊んでいる時に・・・。

Q4 友だちから、遊びにいこうとさそわれました。どうしますか？

- ① 家の人に言って、出かける。
- ② 家の人にだまって、出かける。
- ③ 家の人がないので、出かける。
- ④ 家の人がないので、どこに行くのか、メモに書いて出かける。

家の人とのやくそく

Q5 公園で遊んでいる時に、友だちがみんな「帰ろう。」と言いました。どうしますか？

- ① みんなと一緒に帰る。
- ② 楽しいから、一人で遊ぶ。
- ③ まだ明るいから、一人で遊ぶ。
- ④ 家の近くまで帰って、家の近くの公園で遊ぶ。

家の人とのやくそく

3. 家に一人でいる時に・・・。

Q6 家に一人で、留守番をしていると、玄関のチャイムが鳴りました。どうしますか？

- ① かぎをあけない。
- ② 優しいような声の人だとかぎをあける。
- ③ どんな人でもかぎをあける。

家の人とのやくそく

Q7 家に知らない人から、電話がかかってきました。「今から、届けたいものがあり、あと10分ぐらいしたらそちらに行くので、ドアのかぎをあけてほしい。」と言われました。

どうしますか？

- ① 「また、違う日にしてほしい。」と言って、ドアはあけない。
- ② 優しいような声なのでドアをあける。
- ③ 届けものは大切なものだと思うのでどんな人でもドアをあける。

家の人とのやくそく

4. こんなこと、知っていますか・・・。

Q8 みんなのまわりには、みんなを守ってくれるお店や交番などがあります。
どこにあるか、知っていますか？

- ・子ども110番のいえ
- ・知り合いの家
- ・交番・警察署
- ・消防署
- ・郵便局

Q9 みんなの家の近くや学校の近くにも、危険な場所があります。
どこにあるのか、家の人と確かめておきましょう。
また、絶対に守ることを、書いてみましょう。

家の人と話し合ったこと

絶対に守ること

5. もういちど、確かめましょう。

(1) でかけるときは、家の人につぎの4つをつたえよう。

- ①だれと。
- ②どこに。
- ③何をしに。
- ④何時ころまで。



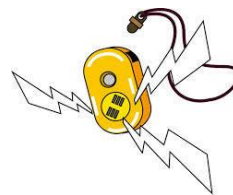
(2) 知らない人につれていかれそうになったら・・・。

- ①いかない。
- ②のらない。
- ③おお声で助けをよぶ。
- ④すぐににげる。
- ⑤しらせる。



(3) こわいときには・・・。

- ①近よらない、すぐに逃げる。
- ②おお声でさけぶ、助けを求める。
- ③近くの店や家に逃げる。
- ④ぼうはんブザーなどを鳴らす。



(4) 家にかえってきたときには・・・。

- ①いえのかぎを見せない。
- ②いえのまわりをよく見る。
- ③ゆうびんポストをチェック。
- ④だれもいなくても「ただいま」。
- ⑤なかに入ったら、すぐにとじまり。



安全な生活を送るために ～自分の命を守るために～ 解説編（保護者用）

1. 知らない人から声をかけられました。

Q 1. 学校の帰り道、知らない人から、「新しいゲームソフトをあげようか。」と声をかけられました。どうしますか？

《望ましい答え》③知らない人にはついていかない。

④近くにいる大人に、声をかけられたことを伝える。

《解説》いわゆる声かけ事案です。知らない人に声をかけられた時の対応について、必要な知識と行動の仕方を身に付けさせて下さい。子どもを誘う手口はいろいろあります。

・子どもの好きなもので誘う。（菓子・動物・ゲーム等）

・助けを求める。（道を尋ねる。）

・緊急事態を装う（家族の事故を装い病院へ等）

・大人の世界へ誘発する。（モデル・タレント、写真撮影等）

知らない人にはついていかない。近くの人に伝える等の行動が必要。

Q 2. 遊んでいる時、知らない人に車から「家の人に頼まれて、迎えにきたよ。」と声をかけられました。どうしますか？

《望ましい答え》①すぐに車からはなれる。

《解説》車に連れ込まれる事案が発生しています。道を聞かれることなどがあっても、絶対に車に近づかないように注意することが大切です。

Q 3. 知らない人につれていかれそうになりました。どうしますか？

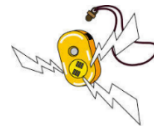
《望ましい答え》①すぐに走って逃げる。

②大声を出して、助けを求める。

④近くのお店や家になげこむ。

⑤防犯ブザーやホイッスル（笛）を鳴らす。

《解説》気を付けていても、こわい目にあうことがあります。危険場面での行動の仕方について、普段から考えておくことが大切です。防犯ブザーは、時々鳴らして音が出ることを確認して下さい。いざという時、すぐ使えるよう、スカートやズボンの吊りひも、ランドセル等の手の届く位置につけておくようにしましょう。また、外出時には、防犯ブザーの代わりにホイッスル（笛）なども効果的です。



2. 友だちと遊びに行く時、遊んでいる時に・・・。

Q 4. 友だちから、遊びにいこうとさそわれました。どうしますか？

《望ましい答え》①家の人に言って、出かける。

③家の人がないので、出かける。

④家の人がないので、どこに行くのか、メモに書いて出かける。

《解説》外出時の約束についてご家族でよく話し合い、お子様が黙って出かけることのないように十分ご指導下さい。連絡が取れない場合はメモで伝える等、事前に連絡方法の約束をしておくことが大切です。



Q 5. 公園で遊んでいる時に、友だちがみんな「帰ろう。」といいました。どうしますか？

《望ましい答え》①みんなといっしょにかえる。

《解説》一人で行動すると様々な危険なことに巻き込まれる可能性が高くなります。「いざ」という時に助けを呼ぶこともできません。防犯を常に意識して行動できるようご指導下さい。また、様々な状況と対応の方法について話し合いを深めて下さい。

3. 家に一人にいる時に・・・。

Q 6. 家に一人で、留守番をしていると、玄関のチャイムが鳴りました。どうしますか？

《望ましい答え》①かぎをあけない。

《解説》一人で留守番していることを知っていて、玄関のチャイムを鳴らせ、ドアが開いた瞬間に、中に入り込む事件も発生しています。くれぐれも、むやみにドアを開けることのないよう、ご指導下さい。

Q 7. 家に知らない人から、電話がかかってきました。「今から、届けたいものがあり、あと10分ぐらいしたらそちらにいくので、ドアのかぎをあけてほしい。」と言われました。どうしますか？

《望ましい答え》①「また、違う日にしてほしい。」といて、ドアはあけない。

《解説》宅配便を装った事件があります。安易に鍵を開けないようにご指導下さい。小学生は特に、留守の対応が難しい場合が多いので、家庭でどう対応するのか決めておくことも大切です。

4. こんなこと知っていますか・・・。



Q 8. みんなのまわりには、みんなを守ってくれるお店や交番などがあります。どこにあるか、知っていますか？

《望ましい答え》すべて知っている。

《解説》「いざ」という時のことを考えて、防犯の視点から地域の「子ども110番 青少年を守る店・守る家」等を、お子様と一緒に確認していただきますようお願いいたします。

Q 9. みんなの家の近くや学校の近くにも、危険な場所があります。どこにあるのか、家の人と確かめておきましょう。また、絶対に守ることを、書いてみましょう。

《解説》

- (1) 地域や学校等で行っている防犯活動の具体的内容をよく知って活用することが安全確保に役立ちます。お子様と一緒に調べ、確実に内容を把握して下さい。
- (2) 挨拶の励行を始め、近所の方や地域で活動されている方々とお子様や保護者が「知り合い」「顔見知り」になることが子どもたちの安全を守るために必要です。
- (3) 日頃から慣れている場所で、子どもたちにとって危険な場所はたくさんあります。買い物に出かけた時など地域を歩いて実際に場所を確認しましょう。

5. もういちど確かめましょう。

《解説》

- (1) お子様が出出するときには、「①だれと」「②どこに」「③何をしに」「④何時ころまで」の4つを必ず伝えてから出かけることを、日頃にご指導下さい。そういった毎日の習慣が、子どもたちの命を守ることに繋がります。
- (2) 防犯標語は、犯罪に巻き込まれないための注意事項や不審な声かけからの対処方法を子どもになじみやすい形でまとめたものです。子ども自身に、「自分のことは自分で守る」意識を認識させましょう。

いかない のらない おお声で助けをよぶ すぐににげる しらせる

- (3) こわいなと感じた時には、「①近寄らない。すぐに逃げる」「②大声で叫ぶ。助けを求める。」「③近くの家や店に逃げる。」「④防犯ブザーなどを鳴らす」といったことも、日頃からお子様にご指導下さい。
- (4) 防犯標語としては、他に、「いいゆだな」等があります。こういった標語は、日常の行動の中に当てはめながら覚えるようにすることが大切です。

「いいゆだな」の意味

- えの鍵を見せない。
(ひもでぶら下げた鍵をランドセルの横や服の上から見えるようにしない)
- えの周りをよく見る
(不審者がついてきていないか確かめる。特にエレベーターを利用する子ども)
- うびんポストをチェック
(郵便受けに新聞や手紙がたまっていると、留守がちな家だと思われる)
- だれもいなくても「ただいま」。
(不審者に、家に誰かいると思わせる。)
- かに入ったら、すぐ戸締り。
(鍵を開けた時に、不審者に中に入られないように気を付ける。)



- ※エレベーターホール等に見かけない人がいないか周囲を確認する。
- ※不審者を発見した時は、管理人や管理組合の人に知らせる。
- ※エレベーターは、非常ベルや各階のボタンを押せる位置に乗る。
- ※後ろから襲われないように壁を背にして乗る。
- ※知らない人と二人だけで乗った時は直近の階でエレベーターを降りる。